

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 端山園	代表者	山内幸雄	法人・ 事業所 の特徴	豊國神社の境内の一角に位置し、自然に囲まれた閑静な環境となっている。「住み慣れた地域で、いつまでも‘ありたい自分’で暮らしていく」ことを目指し日常の支援を行っている。					
事業所名	地域密着型ケアセン ターいまくまの	管理者	加賀爪							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	1人	1人	3人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の 確認	・来年度は、具体的な改善計画をもとに、ミーティング等を通じて、活動を確認し、スタッフ一同が自己評価を達成できるように取り組んでいく。	カンファレンス等を通じて、ご利用者の情報を収集し、ご利用者の状態に合わせて柔軟にサービスを提供することができた。	職員間のコミュニケーション強化や利用者一人ひとりから「したいこと」の希望を聞き出すなど、本人の生活に合わせた支援ができるよう積極的に取り組めている。全体的に取り組むことができており、さらなる改善を目指して厳しくチェックされている。常に前向きに取り組み努力されている。職員全員が一丸となってサービス提供にあたられていることが伺えます。何事も謙虚なスタイルで取り組まれていると思います。	具体的な改善計画をもとに、ミーティング等を通じて、活動を確認し、スタッフ一同取り組んでいく。
B. 事業所の しつらえ・環境	・園芸は行っていたが、家庭菜園までは至っていなかった。行事や事業所の空間を通して季節感を表していた。引きつづき、園芸や季節に応じた空間づくりを行っていく。行事も継続。 ・立地上、来所しにくい場所ではあるが、自動ドアの施錠はして行っておらず、出入りしやすい環境となっており、現状のまま継続する。	コロナウイルス感染対策のため、テレビやテーブルを増やし、通りのご利用者同士が密にならないように環境を整えた。季節折々の飾りつけをご利用者とともに取り組んだ。	秋には焼き芋を玄関前で焼いて、利用者に食してもらうなど、季節感を感じてもらえる機会を提供されている。自動ドアの施錠もなく、施設を尋ねれば入りやすい環境にあった。また出入り口ではコロナ感染対策がしっかりとくなっている。ご利用者に無断外出には気をつけて下さい。職員の方々はご利用者や地域の方の事にも心おきなく尽くされている要に思	引き続きコロナウイルスの感染対策を取り組んでいく。 事業所内でできる範囲のイベントや季節折々の飾り付けをご利用者とともに取り組み、季節感が味わえるようにする。

			われます	
C. 事業所と地域のかかわり	・引き続き、地域行事への参加等を通じて、地域との関わりをもつ。	コロナウイルスの影響により、地域行事もなくなり、また他機関を招いて行っていた施設内イベントもできなくなり、地域との関わりが前年度に比べて希薄化している。しかし前年度に比べて、ご利用者のケースを通じて、警察署や民生員、他医療機関と連携を図る機会が増え、他機関と協力してご利用者のケースにあたっている。	地域の役員の方々は貴事業所を把握されています。また施設に訪れた際には職員から積極的に挨拶されています。コロナ渦でも地域と関わり続けられる新たな方法を検討する必要がある。私自身も地域の困りごとでお世話になっており、感謝いたしております。地域の行事等にご参加され、地域方々とも和気あいあいと過ごされています。	コロナ渦の中、地域と関わり続けられる新たな方法を検討。引き続き地域資源の活用連携を図り、ご利用者のケースにあたる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域行事への参加を通じて、外出の機会を設けてはいるが、個人の希望に沿った外出支援ができないないため、来年度は個人の希望に沿った外出支援も行う。	C郡と同じ。ご利用者の生活に必要な必需品はいままでの商店街を活用している。ご利用者一人ひとりに希望を聞き、個別ケアを取り組んだ。	事業所に閉じ込めるといった雰囲気は感じられない。個人の希望に沿った支援を心掛けている。コロナ渦の影響により、地域へ出向くことが難しい。ご利用者様は施設イベントで外に出られたり、地域のイベントにも参加されています。2か月に1回の会議がコロナ渦で会議できない時もあり、私自身も欠席もあって、いろいろ大変だと思います。地域の心配事でご相談させて頂いた結果、その方は通所させて頂いています。ありがとうございます。	コロナ渦の中、地域と関わり続けられる新たな方法を検討。個人の希望に沿った個別ケアを引き続き継続して取り組んでいく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議の内容に、地域の中で心配されている方がいらっしゃらないか確認相談できる項目を作る。	今年度はコロナウイルスの影響により、運営推進会議について、書面で行うこともあり、従来通りの開催が感染状況に応じていた。コロナ渦の中、地域の活動状況や困難ケースなど、運営推進会議を通じて、情報を収集するように取	事業所の取り組みが議事録からも読み取れる。地域の中で心配されている方がいるかどうか相談できる項目ができる。年度の目標が具体的で分かりやすい。年度の報告では実際にあった例をもとにされると事業所の取り組み	引き続き、運営推進会議を通じて、地域の活動状況や、地域との関わりが継続できる新たな方法を検討する。

		り組みを行った。	が地域に分かってもらえやすいのではないか。運営会議の当日送迎を今後ともよろしくお願ひします。会議の中では利用者の方々の安全等に気を付けていることや地域の方々の取り組み等わかりやすく説明頂いています。また会議の中で出た意見は改善につながっているように思います。	
F. 事業所の 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練や急変時の講習会等を実施する場合は、運営推進会議に出席して下さっている方々等にも案内をする。 ・地域の防災訓練に参加する。 	<p>コロナウイルスの影響により、運営推進会議の出席者に防災訓練等の参加案内を控えた。</p> <p>防災訓練及び水災害の訓練を予定通り実施することができている。AEDの講習会や非常食も実際に使用した。</p>	<p>事業所の防災計画はわからないが、事業所のある地域がどの種の災害に該当するかは京都市の防災マップで確認できる。事業所の防災訓練に一度参加したいと思います。コロナウイルスのような感染が懸念される中で大災害が起こった場合も想定して訓練する必要があると感じます。今後とも地域福祉の推進に力を合わせて取り組んでいきたいと思いますのでよろしくお願ひします。防災計画と実行日の報を聞き取り組されて大変なことがわかりました。地域の防災事業にも参加されているように聞いています。災害時の施設は安全で地域のよりどころになると考えています。</p>	感染状況を踏まえながら、町内の方や運営推進会議の出席者に参加案内をする。